

中山間地域の幸福度に関する調査

—山形県西川町を事例に—

東北工業大学院 工学研究科 土木工学専攻 博士前期課程 学生会員 菅野 稚絵
 東北工業大学 工学部 都市マネジメント学科 教授 正会員 菊池 輝
 東北工業大学 名誉教授 フェロー会員 今西 肇
 山形県西川町 後藤 忠勝

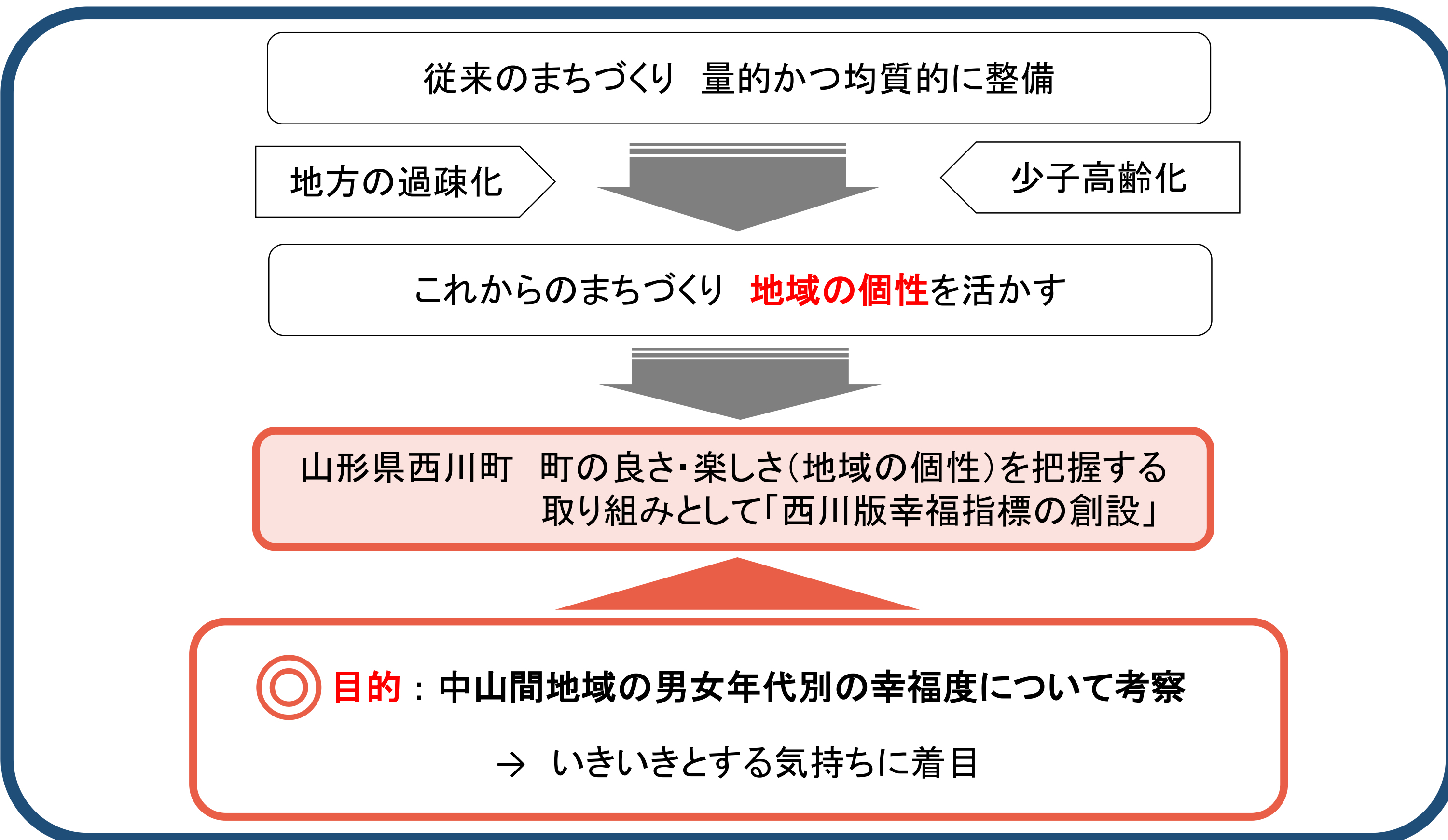
1. 西川町の概要

- 人口：約5000人(2016年)
- 高齢者比率：40%(2016年)
- 観光：月山、寒河江ダム
- 町の総面積の95%が山林
- 進学や就職で若者が町を離れてしまい、少子高齢化が進んでいる
→ 推定人口：3500人(2040年)



<http://www.sidacnikako.com/mission.html>

2. 背景と目的



3. 調査概要

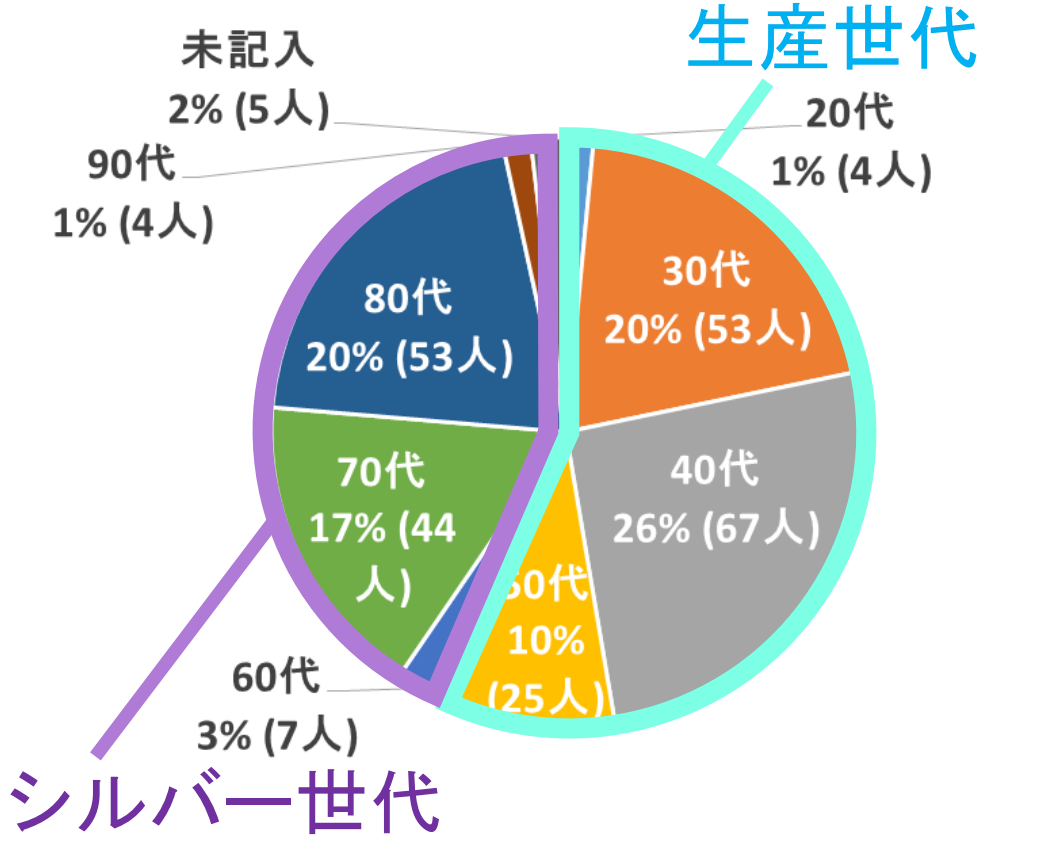
- 調査対象：西川町で行われた4つの町民向けのイベントの来訪者20代以上
- 調査方法：無記名自記式調査用紙を配布 → 262件のサンプルを収集
- 調査項目

	項目	設問
個人属性	性別	選択
	年代	記入
	同居人の有無	選択
	同居人の種類	選択、その他(記入)
	住居	選択、その他(記入)
	職業	選択、その他(記入)
いきいき	いきいきと感じるとき	選択、その他(記入)
	いきいきと感じないとき	選択、その他(記入)

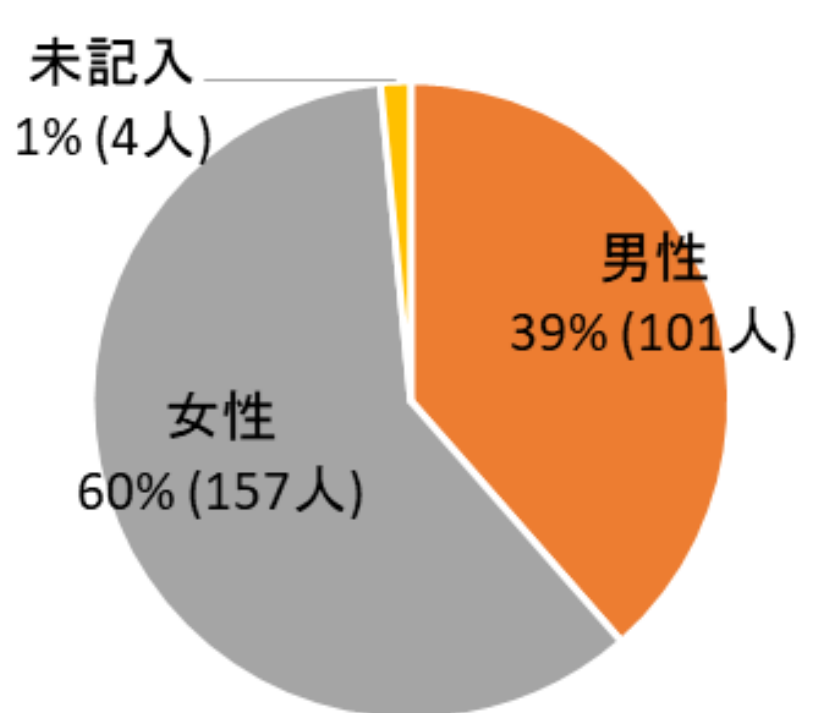
キーワード	いきいきと感じる時の項目	いきいきと感じない時の項目
食	美味しいものを食べた・お腹が満たされたとき	美味しくないと感じたとき・空腹時
ストレス	よく眠れた・リラックスしているとき	寝不足・疲れがたまっているとき
恋愛	恋・異性との交流	失恋したとき
収入	収入を得る・経済的に余裕があるとき	経済的に余裕がないとき
物欲	ものを買うとき・手に入れたとき	欲しいものが手に入らなかったとき
健康	健康であると感じるとき	健康が損なわれたとき
日常生活の変化	新たなことに挑戦するとき	毎日が同じことの繰り返し
運動	運動しているとき	体を動かさないとき
趣味	趣味をしているとき	無趣味・趣味に時間を費やせないとき
個人の時間	一人の時間を過ごすとき	孤独な時間を過ごすとき
承認欲求	他社に認められたとき	他者に認めてもらえないとき
人間関係	友人と会う・人間関係が良好なとき	友人関係がうまくいっていないとき
家族との関係	家族との交流	家族とうまくいっていないとき
仕事	仕事をしているとき	仕事がかまらぬとき

4. 調査結果と考察

回答者の年代割合



回答者の男女割合



全国平均における全体上位3項目との比較(全体、男女、世代別割合)

	全体	男女別		世代別			
		男性	女性	生産世代		シルバー世代	
		30~44歳	45~59歳	60~74歳	75~89歳		
健康	全国平均 65.5%	64.0%	67.4%	48.4%	59.6%	74.8%	80.6%
健康	本研究結果 50.8%	43.6%	56.7%	32.9%		77.9%	
収入	全国平均 60.5%	62.0%	59.2%	61.6%	67.0%	60.0%	52.9%
収入	本研究結果 33.6%	26.7%	38.9%	41.1%		22.1%	
家族	全国平均 59.0%	52.6%	66.0%	62.1%	55.9%	61.9%	55.9%
家族	本研究結果 31.7%	40.6%	26.8%	29.7%		34.6%	

- 全国平均と西川町では重視している項目が異なっていると言える。
- 全国平均と比較すると、男性・シルバー世代は収入を、女性は家族との関係を幸福度の判断として重視していないということが言える。

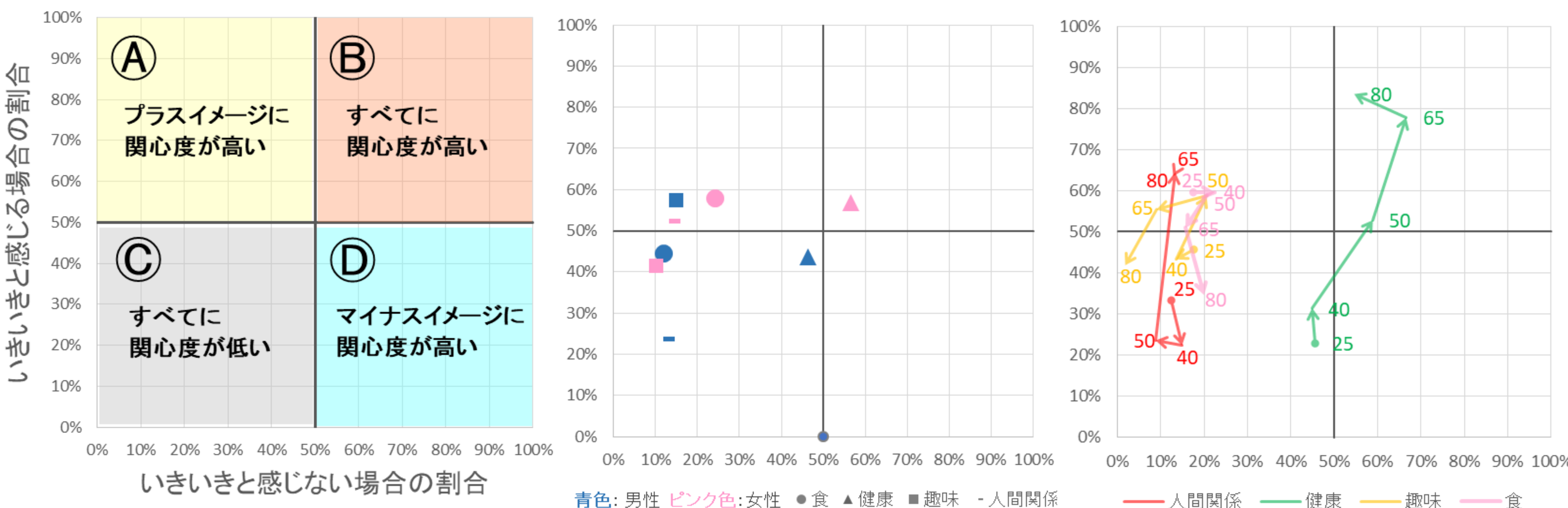
全国平均：小谷みどりの幸福に関する意識調査「どんな人が幸せなのか-幸福に対する価値観との関連から-」より引用

いきいきと感じる場合における全体上位4項目(全体、男女、世代別割合)

いきいき	全体	男女別		世代別	
		男性	女性	生産世代	シルバー世代
食	51.9%	44.6%	58.0%	59.5%	40.4%
健康	50.8%	43.6%	56.7%	32.9%	77.9%
趣味	46.9%	57.4%	41.4%	47.5%	46.2%
人間関係	40.5%	23.8%	52.2%	26.6%	61.5%

- 中山間地域である西川町では全体的に、『食』、『健康』、『趣味』、『人間関係』を幸福度の判断として重視しているということが言える。

関心度と関連付けて



- 男性：趣味があるとき(しているとき)に関心が高く、食・健康状態・人間関係に関心が低い
- 女性：健康状態・食への満足感を得るとき・人間関係が良好なときに関心が高く、趣味に関心が低い
- 生産世代：食への満足感を得るときに関心が高く、健康状態・人間関係に関心が低い
- シルバー世代：健康状態・人間関係が良好なときに関心が高く、食に関心が低い

世代間比較グラフ内部の数字は、年代を示している。それぞれ25~39歳、40~49歳、50~64歳、66歳~79歳、80歳以上

5. 結論

中山間地域である西川町と全国平均では、幸福度の判断として重視している項目が異なる。

特に

- 男性は収入より趣味の時間
- シルバー世代は収入より健康状態や人間関係の良好なとき
- 女性は家族との関係よりも健康状態や食への満足感、人間関係の良さを重視している。